

公表

事業所における自己評価総括表 いるか

○事業所名	放課後等デイサービスゆうゆう いるか		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日		～ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内の見通しが良く、死角が少ないため、目が行き届きやすい。 個別の対応もしている。	危険な行動がないか、トラブルが起こらないか、起こりそうなきときは未然に防げるようにしている。職員が目が行き届かないところがないように配置している。	トラブル解決が職員誰でも出来るように子どもの理解を深め、スキルアップをしていく。
2	トイレが広いので介助しやすい。 子どもたちにも使いやすく作られている。	トイレ介助が必要な利用者さんが多いので、介助しやすく広くできている。また、子どもたちも使いやすく環境を整えている。	自分でできることを増やしていけるよう、自分の着替えがある場所がわかるように工夫していく。
3	施設内を子どもにも指導員にもわかりやすく構造化している。	予定等をイラストを使って誰にでも分かりやすく提示している。また、おもちゃ等の片付ける場所もイラストや写真を貼ることでいつでも同じ場所に片づけることができる。	荷物置き場の仕切りや、棚の使い方など動線を考えたり、仕切りを作るなどさらに使いやすくしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別の空間がないので休息したりクールダウンするための場所が確保しにくい。	仕切りがないため、一人になれる空間がない。	落ち着いて過ごせるように、ソファを置いたり、必要ならば職員が1対1対応をして、気持ち落ち着くまで外でクールダウンに付き合ったりする。 部屋にパーテーションを置いたり、囲いをしたりすることで一人になれる空間を作る。
2	収納スペースが少ない。作った作品を置く場所がない。	安全に活動できるように環境設定しているので、棚や収納用品を置くことが難しい。	安全を確保できる収納や棚の設置を検討していく。事務所に収納スペースを確保していく。
3			

公表

事業所における自己評価結果 いるか

事業所名	放課後等デイサービスゆうゆう いるか		公表日		2026年 2月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		部屋の仕切りや、個別スペースを確保する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		十分に配置されているが1対1で手がかかる子がいるので職員数は配置数より必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	おもちゃの配置等片付けがしやすいようにイラスト表示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	活動内容によって場所を分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	場合に応じて個別に机を利用できる。	部屋が分かれておらず、一つの空間なので、落ち着くための個別の空間の確保が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	細かいフィードバックがある。行事の後や活動後は振り返りをして改善点を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月に1回会議を開いている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		事業所に掲示はしているが、ホームページに掲載していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	新しいアイデアも積極的に取り組んでいる。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	毎日行われている。 支援終了後、個々に責任者に報告し、全体に伝えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動内容を複数示し、やりたいことを自分で決めるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		通所事業所会議に出席しているが、内容等を職員全体にも知らせていく必要がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		該当者がまだいないため、実施していないが、必要な場合は情報提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	地域の児童館の夏祭りイベントに参加させてもらった。	もう少し回数や交流場所を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	0		子ども部会等の会議を通して参加しているが、職員への周知が足りていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	1		家族の方にも参加してもらえらる研修等の紹介をしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	支援計画更新の際を中心に必要に応じて面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	親子交流会が実施されている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	2		事業所の行事に近隣の方を招待するなどの交流の場を作っていく必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		現在アレルギー対応の必要な方がいないが、必要に応じて対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			